

# 農大だより

## 入学式 4月7日

4月7日(金)、令和5年度入学式が挙行されました。今年度は、園芸学科野菜コース16名、花きコース4名、果樹コース4名、畜産学科7名の31名が入学しました。

式では、山形雅宏校長から「農業は食料生産を通して私たちの生命を支える誇りある可能性に満ちた産業である。農業の担い手は年々減少傾向にあるが、皆さんが本校を卒業した暁には、スマート機器などを駆使し、地域農業の主力となって今後の長崎県の農業を牽引する力となられることを期待している。」との式辞がありました。

学生を代表して山崎大匡学生会長より「農大は未来の農業を担う者の集まりです。これからの農業を盛り上げるために何ができるのか、若い私たちだからこそ思いつくアイデアや、実践できることがあると思います。」と歓迎のことがありました。新入生を代表して前田善行さんが「長崎県の農業の発展に貢献できる人材となるために、何事にも積極的に取り組んでいきます。」と力強く入学の誓いがありました。次世代の農業を担う若者たちの学びと活躍が多いに期待されます。



会場を彩るフラワーアレンジ (花きコース)



式辞を述べる山形校長



挨拶をする山崎学生会長



入学の誓いをする前田さん



令和5年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載!!  
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>



読み取ると農大HPへリンクします!



読み取ると農大ツイッターへリンクします!

## 1年生宿泊研修 4月27~28日

諫早青少年自然の家で新入生宿泊研修を実施しました。1日目は諫早消防署の指導のもと、集団訓練と救急救命講習を、夜は各種集団ゲームで交流を深めました。2日目は屋外でオリエンテーリングを実施しました。2日間の研修で、お互いを尊重し協力しながら行動することの大切さや仲間を思いやることの大切さを学び、とても有意義な研修となりました。



集団訓練



救急救命 (心臓マッサージ)



楽しい食事のひと時



集団ゲーム (TPシャッフル)



自由時間も楽しみました



各班に分かれてオリエンテーリング

### 研修に参加した学生の感想

- ・今回の宿泊研修を通して、より一層、寮生活を行う上で、人との接し方、集団生活で大事なことを学ぶことができました。
- ・救急救命では、ケガ等をしたときの応急処置ができるようになった。農業は大型機械を取り扱うことが多く、危険な作業もあるので、機械等を扱う時は事故が起こらないように気を付けなければいけないと思った。

発行日 令和5年7月3日 Vol. 1  
発行者 長崎県立農業大学校  
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171  
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871  
E-mail : [noudai@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:noudai@pref.nagasaki.lg.jp)

## 学生総会/ポスター投票 5月11日

学生自治会総会が5月11日(木)に開催され、新年度の事業計画および予算案が承認されました。今年はコロナが「5類」相当に引き下げられ、各行事がコロナ禍前と同じようにできることが楽しみです。総会后、6年度学生募集用ポスターを決める投票が行われ、下記掲載が採用されました。



議長を務めた平野さん



挨拶をする山崎会長



承認された新役員



モデルは平野副会長

## JA等就職説明会 5月16日

5月16日(火)の午後から農大主催の就職説明会を本校体育館で実施しました。学生は1年生全員と2年生のJA等就職希望者が参加しました。今回参加された事業所は、JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海、佐世保食肉センターの5団体でした。



熱心に耳を傾ける学生



事業内容の説明をするJA職員

### 参加した学生の感想

- ・JAは農家をサポートしてくれるので、新規就農をしようとしている自分からしたら、強い味方なのでJAについてもっと知りたいと思いました。
- ・JAで仕事をしたいと思っていただけ、詳しいことは決めていなかったのですが、今回の説明会はとても参考になりました。
- ・自分はまだ進路は決めていないが、今回の説明会で就農するか、農業関連の仕事に就くのかなど、今後の進路を考え進路を決めることができるように頑張りたいと思いました。
- ・将来的に就農したいと思っているが、そのために経験を積むという意味で数年間JAなどに就職してもいいのかなと迷いがあったので、今回はいい機会となりました。

# 野菜コース

山崎 大匡  
(島原商業高卒)  
島原市有明町



## 「小玉スイカの仕立て本数の検討」

丸形の「ひとりじめ」と楕円形の「カメハメハ」において、子づるの本数を放任区、4本区、6本区を設定し、生育や収量、品質について調査していきます。



一山 羅輝  
(諫早農業高卒)  
雲仙市吾妻町

## 「アスパラガスの後作の検討」

アスパラガス栽培を終了した圃場において土壌分析の結果に基づき、肥料を施用せずにキャベツ等の葉物野菜を栽培して生育等を検証しています。

木場 謙心  
(クラーク国際高卒)  
西海市西彼町



## 「ハウレンソウ栽培における被覆資材の効果」

栽培時期に応じて、トンネル被覆や寒冷紗を被覆することで、発芽率や生育状況、収量等の違いを検証しています。



富永 健友  
(島原農業高卒)  
雲仙市国見町

## 「イチゴ『恋みのり』における葉面散布剤の効果検証」

葉面散布剤「あおぞらくん」と「カネカペプチド」および無散布とで、草勢や収量にどのような影響があるか検証しました。

本多 翔湧  
(島原農業高卒)  
島原市有明町



## 「秋冬ダイコンのリレー出荷と肥料の検討」

秋冬ダイコンを継続して販売するため、品種によるリレー出荷を実証しました。またダイコン専用肥料と複合堆肥混合肥料とで生育、収量の違いもあわせて検証しました。

# 卒論テーマ特集号～その1～

宮原 照伸  
(島原農業高卒)  
雲仙市国見町



## 「イチゴの早期出荷技術の検証」

「恋みのり」において、イチゴ早期出荷技術である株冷Ⅰ型、Ⅱ型、冷水処理の苗と普通ポットの苗において、生育収量、収穫時期等にどのような違いがあるか検証しました。



山崎 哲平  
(北松農業高卒)  
平戸市田平町

## 「白マルチとミラールチの通路部被覆によるイチゴの生育及び害虫発生への影響」

ベンチ通路部とすそを白マルチとミラールチで被覆することで、イチゴ生育や害虫の発生のどのような影響があるか検証しました。

島田 晟伍  
(島原農業高卒)  
島原市長貫町



## 「トマト黄化葉巻病抵抗性品種の検討」

大玉トマトの黄化葉巻病抵抗性の2品種「はれぞら」「かれん」を供試し、生育や収量、品質について調査しています。



谷口 優弥  
(諫早定時制卒)  
諫早市長田町

## 「マルチの色がニンニク栽培に及ぼす影響」

長崎県では珍しい平戸ニンニク栽培においてマルチの色が地温、生育、収量に及ぼす影響について調査しています。

本多 暖歩  
(島原商業高卒)  
島原市中原町



## 「マルチの有無がスイートコーン栽培に及ぼす影響」

スイートコーンでは無マルチの土寄せ栽培とマルチ栽培がある。両者の違いを明らかにするため、比較試験を行っています。

# 花きコース

野上 虹太  
(長崎明誠高校卒)  
長崎市長与町



## 「スタンダード系カーネーションの疎植栽培が切り花本数および品質に及ぼす影響」

ST系カーネーションの慣行栽培ではSP(スプレー)系カーネーションと比較して50%多く定植します。そこで、同じ栽植密度となるよう疎植した時の切り花本数と品質を調査しました。



江川 汰紳  
(諫早農業高卒)  
諫早市高来町

# 果樹コース

## 「『ささば温州』のカルシウムおよびジベレリン散布資材による浮皮軽減技術の検討」

温州ミカンで課題となっている浮皮を軽減するプロジェクトに取り組んでいます。卒業後の、職務や自家の農業に役立てられるように、講義や実習に取り組みたいと思います。

田中 志帆  
(活水高卒)  
長崎市土井首町



## 「ハウスビワ『はるたより』の剪定程度の違いによる高品質果実生産の影響」

剪定・芽かきの強さを変えることによって大玉で糖度の高い高品質な果実生産を行うプロジェクトに取り組んでいます。自家のビワ栽培にも役立てられるように頑張っています。

前田 琢杜  
(諫早農業高卒)  
諫早市多良見町



## 「早生ミカン『原口早生』の定温定湿貯蔵庫等による長期貯蔵技術の検討」

『原口早生』を供試し既存の冷蔵貯蔵庫と常温貯蔵庫および最新の定温定湿貯蔵庫で果実品質の比較検討を行っています。就農後に役立てられるよう頑張っています。

中村 奈桜樹  
(諫早農業高卒)  
大村市黒丸町



## 「モモの果実肥大期における光環境改善のための新梢除去とシートマルチによる着色促進効果の検討」

モモの着色促進を図るために新梢の切除や光を反射するシートの被覆を行っています。プロジェクトの実施で、将来の進路に役立つよう頑張っています。

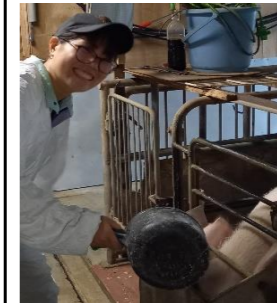
# 畜産学科

秋山 章一郎  
(大崎高卒)  
雲仙市吾妻町



## 「発育向上を目指した子牛哺乳プログラムの改良」

農大では超早期母子分離を行っており、分離後は手作業でミルクを給与しています。さらなる発育良好な子牛育成のため、最適なミルクの量や給与期間の調査を行っています。



石橋 彩夏  
(西彼農業高卒)  
西彼杵郡長与町

## 「飼料用米給与が豚肉の食味に及ぼす影響」

肥育後期豚に飼料用米を給与することにより、オレイン酸などの旨味成分が向上することが知られていますが、実際に食味や脂肪酸組成等に及ぼす影響について調査しています。



江湖 陽和  
(西彼農業高卒)  
長崎市横尾町

## 「飼料用米入り配合飼料が肥育後期豚の増体等に及ぼす影響」

配合飼料価格高騰により、国内で入手可能な飼料用米の重要性が益々高くなっています。そこで、配合飼料の一部を飼料用米で代替した飼料が、増体や枝肉成績に及ぼす影響について調査しています。

## ～農大からのお知らせ～

農大では、7月15日(土)～16日(日)に農大カレッジを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

詳細は、農大教務課まで!

☎ 0957-26-1016

### 今後の主な行事

- 7/11～17 2年生国内研修旅行(北海道)
- 7/15～16 農大カレッジ
- 7/25 1年生諫早川まつりボランティア活動
- 7/31～8/2 前期試験
- 8/18 高校職員対象オープンキャンパス
- 9/14～15 九州農大親善体育大会(熊本)
- 9/27～10/26 2年生農家等派遣研修
- 10/21 第2回農大オープンキャンパス
- 11/11 飛雲祭